



議会報告会を開催しました

草津市議会では、草津市議会基本条例の「市民に開かれた議会」の理念に基づき、議会活動を報告し、市民の意見を聞く場として、平成27年から議会報告会を開催しております。

今年度は、昨年度に引き続き「オープン The 議会」と題し、5月19日（日）午前、午後の2部制で実施しました。市民の皆さまに議会を身近に感じていただき、私たち市議会議員や議会活動のことをもっと知ってもらえればという思いから、議場や委員会室を開放し、また議場で演奏会（草津吹奏楽団によるクラリネット六重奏、金管十重奏）を行いました。当日は53名の方に参加いただき、各常任委員会からの報告を行った後、各委員会室で意見交換を行いました。意見交換の場でいただきましたご意見などは今後の委員会での調査研究の参考とさせていただきます。（議会報告会の報告書は市議会ホームページに掲載しております。また議会図書室でもご覧いただけます。）



●参加者の皆様と意見交換を行いました（一部を紹介します）

総務常任委員会 意見交換テーマ:指定管理者制度について

参加者 指定管理者の事業者の応募が少ない。指定管理者の公募の状況が事業者適切に提供されていないのではないか。

議員 市は指定管理者の公募を広報やホームページでお知らせしています。しかし応募が少ないのが現状で、市も応募の少なさを心配しています。指定管理期間の定めがあるので、雇用の問題等事業者としての都合もあると聞いてます。

文教厚生常任委員会 意見交換テーマ:文化財の保存と活用について

参加者 滋賀県や草津市は、日本一の物など全国に誇れるものが多いのにもったいない。

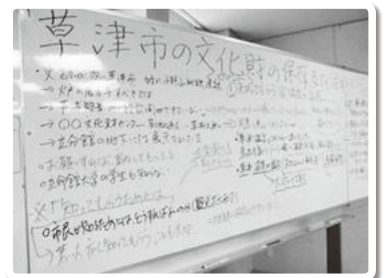
参加者 文化財はなかなか興味を持たれないことが多いが、今後どのように活用されていくのか。

議員 若い方も含め、興味や関心を持ってもらえるような活用手法を考えていかなければならないと思っています。

産業建設常任委員会 意見交換テーマ:みちサポーター事業の更なる拡大について

参加者 みちサポーター事業拡大の狙いは何か。

議員 当該事業は地域の身近な取り組みとしてのサポーター制度です。市民に市が管理する道路の状況や状態を身近な問題として捉えてもらうことも狙いのひとつです。



アンケート結果や当日用意しました資料は市議会ホームページや議会図書室にてご覧いただけます。